

いつでもお問い合わせください

登録してサポートを受けるには  
[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

HTB5541DG  
HTB5571DG

ご質問はフィ  
リップスへ



取扱説明書

**PHILIPS**



# 目次

<b>1 重要</b>	2	<b>8 トラブルシューティング</b>	21
安全上の注意	2		
<b>2 マイクロシステム</b>	3	<b>9 通知</b>	23
はじめに	3	適合宣言	23
パッケージの内容	3	書面でのオファー	24
メインユニットの概要	4		
リモコンの概要	5		
<b>3 はじめに</b>	7		
デバイスの設置	7		
FM アンテナの接続	7		
電源を接続する	7		
リモコンの準備	8		
時計の設定	8		
電源のオン/オフ	8		
<b>4 再生</b>	9		
シングルモードで再生する	9		
グループモードで再生する	12		
<b>5 サウンドの調整</b>	16		
プリセットされたサウンド効果を選 択する	16		
音量レベルを調節する	16		
音声をミュートする	16		
<b>6 その他の機能</b>	17		
アラームタイマーを設定する	17		
スリープタイマーを設定する	17		
外部デバイスの音楽を再生する	17		
ヘッドフォンで聴く	18		
ファームウェアを更新する	18		
<b>7 製品情報</b>	19		
仕様	19		
USB 対応情報	19		
サポートされている MP3 ディスク 形式	20		

# 1 重要

## 安全上の注意

- 通気のため、製品の周囲に十分な空間を確保してください。
  - 製造元によって指定されている付属品またはアクセサリ以外は使用しないでください。
  - 乾電池使用上の注意: 怪我、物品の損傷、製品の破損を招く乾電池の液漏れを防止するために、次の点に注意してください。
    - 乾電池を正しく装着してください(製品に示されているとおりに +/- を装着してください)。
    - 製品を長期間にわたって使用しない場合は、乾電池を取り外してください。
    - 乾電池を直射日光や炎などの過度の熱にさらさないでください。
  - 製品に水滴がかかったり水跳ねしたりしないようにしてください。
  - 危険性のある物体を製品の上に置かないでください(液体の入った物、火が点いたキャンドルなど)。
  - ダイレクトプラグインアダプタのプラグを断路装置として使用している場合、断路装置はすぐに動作可能な状態にしておいてください。
- ☑ ユーザーマニュアルに記載されている電源のみを使用してください。

### 警告

- このデバイスのケースは絶対に取り外さないでください。
- 機器のどの部分にも絶対に潤滑剤を塗らないでください。
- 機器は他の電子機器の上に絶対に置かないでください。
- 機器は直射日光、裸火、熱から離して置いてください。
- 機器内部のレーザー光は絶対に覗き込まないでください。
- 機器を電源から切断するために、電源コード、プラグ、アダプターに手が届きやすいようにしておいてください。

## 聴力に関する安全性

### 注意

- 聴力の低下を防ぐため、大音量での使用は短時間とし、通常は適切な音量で使用してください。音量を大きくする場合は使用時間を短くしてください。

### ヘッドフォンを使用する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量と使用時間を守ってください。
- 耳が慣れてきたと感じた場合でも、音量を上げ過ぎないでください。
- 周囲の音が聞き取れないほど音量を上げないでください。
- 危険が予測される状況での使用は十分に注意し、必要に応じて使用を中断してください。
- イヤホンおよびヘッドフォン使用時の過度の音量は、聴力低下の原因となります。

## 2 マイクロシステム

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくには、製品を [www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome) で登録してください。

### はじめに

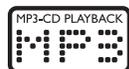
この機器を使用して、次のことをお楽しみいただけます。

- ディスク、Bluetooth 対応デバイス、USB ストレージデバイス、または他の外部デバイスのオーディオを再生する
- izzylink 対応マルチルームスピーカー（本製品には付属していません）を使用して、家中どこでも音楽を聴く
- FM ラジオ局の放送を聴く

次のサウンド効果のいずれかを選択できます。

- Balanced (バランス)、Warm (ウォーム)、Bright (ブライツ)、Clear (クリア)、Powerful (パワフル)

この機器では、次のメディア形式がサポートされています。

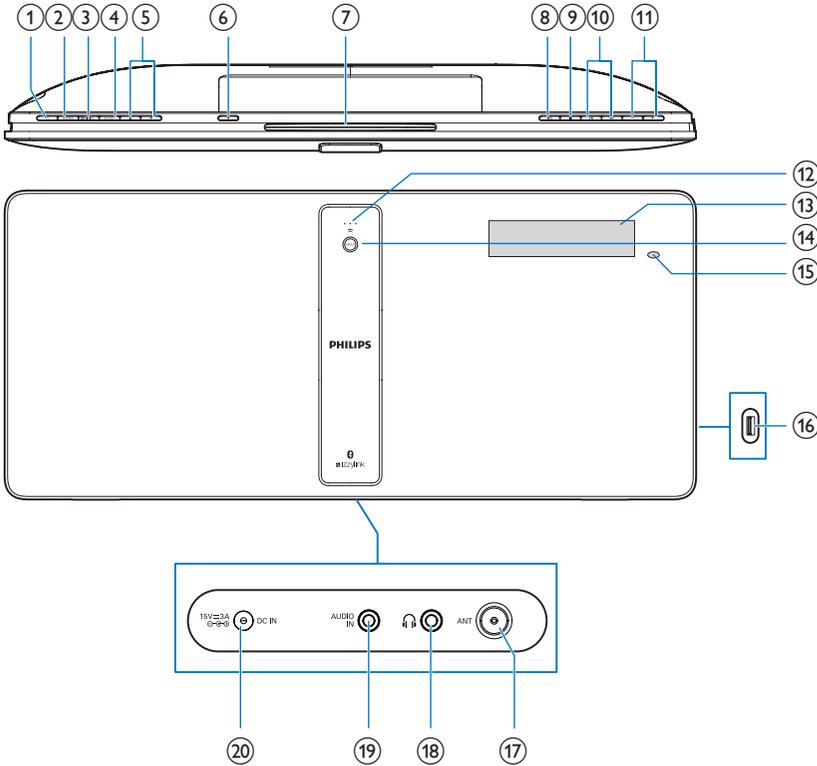


### パッケージの内容

パッケージに以下の物が含まれていることを確認してください。

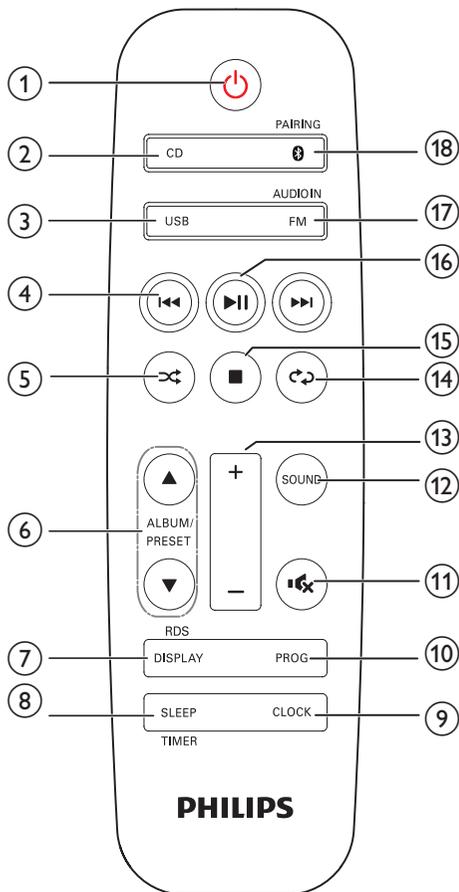
- 製品本体
- FM ワイヤアンテナ 1 本
- リモコン (単四乾電池 1 個付き)
- ドキュメント
- テーブルスタンド (ネジ付き)
- 壁への取り付け手順を示したシート
- 壁への取り付け用ブラケットとネジ

# メインユニットの概要



- ①
  - ユニットのオン/オフを切り替える。
  - スタンバイモードまたはエコモードに切り替える。
- ② **SOURCE**
  - 音源を DISC(ディスク)、USB、TUNER(チューナー)、BT(Bluetooth)、AUDIO IN(オーディオ入力)に切り替える。
- ③ **PAIRING**
  - Bluetooth モードで 2 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けると、何も再生していないデバイスが切断され、ペアリングモードに入る。
- ④ **SET/OK**
  - 選択した内容を確認する。
- ⑤
  - プリセットされたラジオ局を選択する。
  - 前または次のアルバムにスキップする。
- ⑥
  - ディスクコンパートメントを開閉する。
- ⑦ **ディスクコンパートメント**
- ⑧
  - 再生を開始、一時停止、再開する。
- Bluetooth モードで 1 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けるとペアリングモードに入る。

## リモコンの概要



- ① **⏻**
- ユニットのオン／オフを切り替える。
  - スタンバイモードまたはエコモードに切り替える。
- ② **CD**
- DISC 音源を選択する。
- ③ **FM / AUDIO IN**
- 繰り返し押して、音源として FM またはオーディオ入力を選択する。

- ⑨ **■**
- 再生を停止するかプログラムを消去する。
- ⑩ **⏮ / ⏭**
- 前または次のタイトル、チャプター、トラック、ファイルにスキップする。
- ⑪ **+/-**
- 音量を調整する
- ⑫ **信号強度インジケータ**
- グループ接続の信号強度を示す。
- ⑬ **表示パネル**
- ⑭ **GROUP ボタン／インジケータ**
- 押し続けて、他の izzylink 対応マルチルームスピーカーをグループに追加する。
  - シングルモードとグループモードを切り替える。
  - グループの構成中は緑で点滅する。
  - グループが正常に作成されると、白で点灯する(マスタースピーカーの場合)。
  - グループが正常に作成されると、緑で点灯する(スレーブスピーカーの場合)。
  - ユニットがスレーブとして動作し、マスターを探しているときは緑で点滅する。
- ⑮ **赤外線センサー**
- リモコンからの赤外線を受信するセンサー
- ⑯ **🔌**
- USB ソケット。
- ⑰ **FM ANT**
- FM アンテナソケット。
- ⑱ **🎧**
- ヘッドフォンソケット。
- ⑲ **AUDIO IN**
- 外部オーディオデバイス用のオーディオ入力ソケット (3.5mm)。
- ⑳ **DC IN**
- 電源ソケット。

- ④  / 
- 前または次のトラックにスキップする。
  - トラック、ディスク、USB 内で検索する。
  - ラジオ局にチューニングする。
  - 時間を調整する。
- ⑤ 
- トラックをランダムに再生する。
- ⑥ ALBUM/PRESET ▲ / ▼
- プリセットされたラジオ局を選択する。
  - 前または次のアルバムにスキップする。
- ⑦ DISPLAY / RDS
- ディスプレイの明るさを調整する。
  - 再生中に、再生情報が表示される。
- ⑧ SLEEP / TIMER
- スリープタイマーを設定する。
  - アラームタイマーを設定する。
- ⑨ CLOCK
- 時計を設定する。
  - 時計情報が表示される。
- ⑩ PROG
- トラックをプログラムする。
  - ラジオ局をプログラムする。
- ⑪ 
- ミュートのオン/オフを切り替える。
- ⑫ SOUND
- プリセットのサウンド効果を選択する。
- ⑬ +/-
- 音量を調節する。
- ⑭ 
- トラックまたはすべてのトラックを繰り返し再生する。
- ⑮ ■
- 再生を停止するかプログラムを消去する。
- ⑯ 
- 再生を開始、一時停止、再開する。
- ⑰ USB
- 音源として USB を選択する。
- ⑱  PAIRING
- 音源として BT (Bluetooth) を選択する。
  - Bluetooth モードで 2 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けると、何も再生していないデバイスが切断され、ペアリングモードに入る。
  - Bluetooth モードで 1 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けるとペアリングモードに入る。

# 3 はじめに

## ！ 注意

- ここでの説明と異なる制御手順、調整手順、または実行手順を行った場合は、有害なレーザーにさらされるか、その他の危険な操作を引き起こす可能性があります。

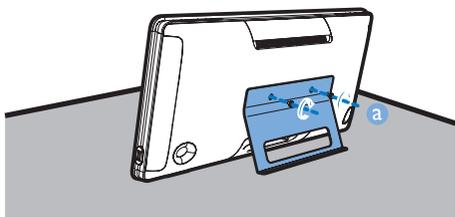
この章の指示には、必ず順番通りに従ってください。

フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器のモデル番号とシリアル番号が必要になります。モデル番号およびシリアル番号は、機器の裏に記載されています。これらの番号を以下に控えておいてください。

モデル番号 \_\_\_\_\_

シリアル番号 \_\_\_\_\_

## デバイスの設置



## ＊ ヒント

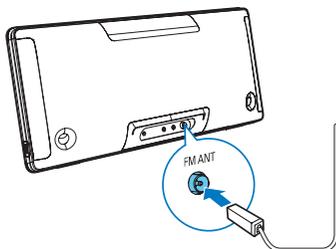
- スピーカーを壁に取り付ける方法については、壁への取り付け手順を示したシート（付属）を参照してください。

## FM アンテナの接続

## ＊ ヒント

- 最適な受信状態になるように、アンテナを完全に伸ばし、位置を調整します。
- FM ステレオの受信状態を改善するには、屋外用の FM アンテナを FM ANT ソケットに接続します。

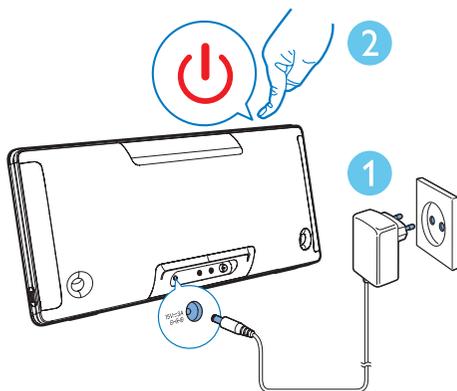
- 付属の FM アンテナを、機器の背面にある FM ANT ソケットに接続します。



## 電源を接続する

## ！ 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。電源電圧と、本体裏に表示されている電圧とが一致していることを確認してください。
- 感電の危険性があります。AC 電源アダプターを差し込む前に、アダプターのプラグ変換器がしっかりと固定されていることを確認してください。AC 電源アダプターを取り外すときには、コードではなく、必ずプラグをつかんで引き抜いてください。
- AC 電源アダプターを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。



## リモコンの準備

### ！ 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。リモコンを長期間にわたって使用しない場合は、電池を取り外してください。

### リモコンに電池を入れる：

- 1 電池入れのカバーを開きます。
- 2 極性 (+/-) を間違えないよう、図に従って付属の単四電池を入れます。
- 3 電池入れのカバーを閉じます。



## 時計の設定

- 1 スタンバイモードで、リモコンの **CLOCK** を 3 秒間押し続けます。  
↳ [24H] または [12H] の時間形式が表示されます。
- 2 **◀◀ / ▶▶** (または +/-) を押し、[24H] または [12H] の時間形式を選択します。
- 3 **CLOCK** を押し、確定します。  
↳ 時間を示す数字が表示され、点滅します。
- 4 **◀◀ / ▶▶** (または +/-) を押し、時間を選択し、**CLOCK** を押し、確定します。  
↳ 分を示す数字が表示され、点滅します。
- 5 **◀◀ / ▶▶** (または +/-) を押し、分を選択し、**CLOCK** を押し、確定します。

### ✳ ヒント

- 機器の電源がオンになっていれば、**CLOCK** を押し、時刻情報を確認できます。

## 電源のオン／オフ

- **⏻** を押します。  
↳ 機器は、前回使用時に選択されていた音源に切り替わります。  
↳ 機器が起動するまで信号強度インジケータが何秒間か点滅します。

## スタンバイモードに切り替える

- もう一度 **⏻** を押すと、機器がスタンバイモードに切り替わります。  
↳ パネルに時間 (設定している場合) が表示されます。

### エコモードに切り替えるには：

- **⏻** を 3 秒以上押し続けます。  
↳ 表示パネルが暗くなります。

### ☰ 注

- スタンバイモードで 15 分間が経過すると、機器はエコモードに切り替わります。
- グループモードでは、機器は自動的にエコモードに切り替わりません。

### スタンバイモードとエコモードを切り替えるには：

- **⏻** を 3 秒以上押し続けます。

# 4 再生

## シングルモードで再生する

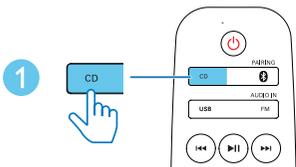
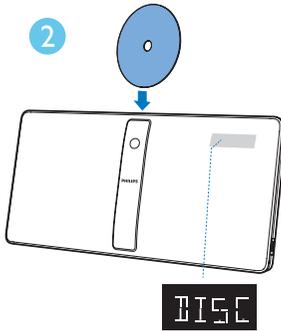
**シングルモード:**シングルモードとは、スピーカーが他の izzylink 対応マルチルームスピーカーとグループ化されていない状態を指し、そのスピーカーはスタンドアロンとして使用されます。

## ディスクからの再生

### 注

- ディスクに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します。

- 1 CD を押して、音源として [DISC] を選択します。
- 2 印刷面が正面を向くようにディスクをディスクコンパートメントに挿入します。  
↳ 再生が自動的に開始されます。再生が自動的に開始されない場合は、▶|| を押します。

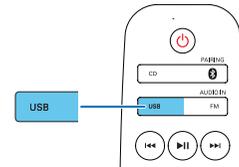
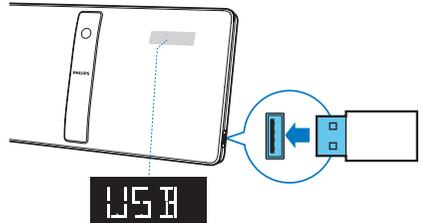


## USB の再生

### 注

- USB デバイスに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します ('製品情報' 19 ページを参照)。

- 1 USB を押して、音源として USB を選択します。
- 2 USB デバイスを USB ソケットに挿入します。  
↳ 再生が自動的に開始されます。再生が自動的に開始されない場合は、▶|| を押します。



## 再生の制御

- |       |   |
|-------|---|
| ▲ / ▼ | フォルダを選択します。                                       |
| ⏪ / ⏩ | 前または次のトラックにスキップします。<br>トラック内を早戻し / 早送りするとき押し続けます。 |
| ▶     | 再生を一時停止 / 再開します。                                  |
| ■     | 再生を停止します。   |
| ↺     | トラックまたはすべてのトラックを繰り返し再生します。                        |
| ↻     | トラックをランダムに再生します (プログラムされたトラックには適用されません)。          |

---

## 別のトラックへのスキップ

CD の場合:

◀◀ / ▶▶ を押して別のトラックを選択します。

MP3 ディスクおよび USB の場合:

- 1 ALBUM/PRESET ▲ / ▼ を押して、アルバムまたはフォルダを選択します。
- 2 ◀◀ / ▶▶ を押して、トラックまたはファイルを選択します。

---

## トラックをプログラムする

最大 20 のトラックをプログラムできます。

- 1 再生を停止して **PROG** を押し、プログラムモードを有効にします。
- 2 MP3 トラックの場合は、**ALBUM/PRESET ▲ / ▼** を押してアルバムを選択します。
- 3 ◀◀ / ▶▶ を押してトラックを選択し、**PROG** を押して確定します。
- 4 手順 2 ~ 3 を繰り返して、他のトラックをプログラムします。
- 5 ▶▶ を押して、プログラムしたトラックを再生します。
  - プログラムを消去するには、再生を停止して、■ を押します。

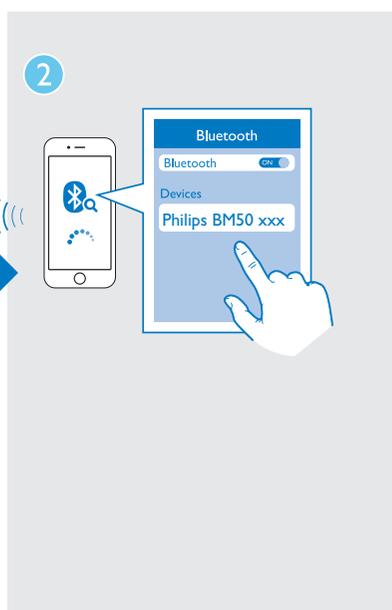
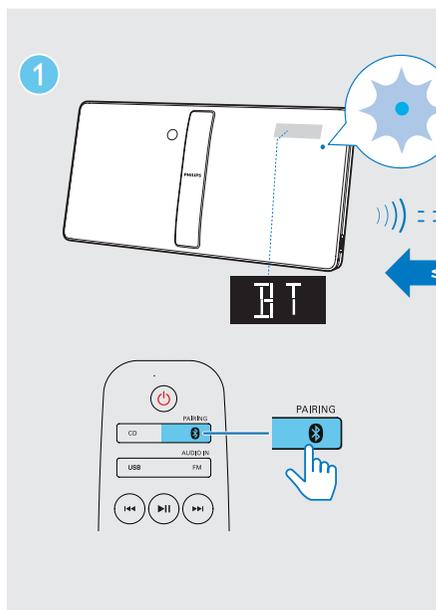
---

## Bluetooth 対応デバイスから再生する

### 注

- デバイスとこの機器をペアリングする前に、デバイスのユーザーマニュアルで、Bluetooth の互換性について確認してください。
- 一部の Bluetooth デバイスとの互換性は保証されていません。
- この機器とデバイスの間には障害物があると、動作範囲が狭くなることがあります。
- この機器と Bluetooth 対応デバイスの有効動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- この機器は、以前に接続されていた Bluetooth デバイスを 2 台まで記憶します。

スピーカーを使用して無線で音楽を再生するには、Bluetooth 対応デバイスと機器をペアリングする必要があります。



- 1 PAIRING / Bluetooth を押して、音源として Bluetooth を選択します。
  - ↳ [BT] (Bluetooth)が表示されます。
  - ↳ Bluetooth インジケータが青で点滅します。
- 2 高度オーディオ配信プロファイル (A2DP)をサポートするデバイスで、Bluetooth を有効にして、ペアリング可能な Bluetooth デバイスを検索します (デバイスのユーザーマニュアルを参照してください)。
- 3 Bluetooth 対応デバイスで「Philips BM50 xxx」を選択し、必要に応じてペアリングパスワード「0000」を入力します。
  - ↳ ペアリングと接続が完了すると、Bluetooth インジケータが青で点灯し、ビープ音が鳴ります。
  - ↳ 「BT」が表示されます。
- 4 接続したデバイスで音楽を再生します。
  - ↳ 音楽は、Bluetooth 対応デバイスから機器にストリーミングされます。

- 「Philips BM50 xxx」が見つからないか、機器とペアリングできない場合は、ビープ音が 1 回鳴ってペアリングモードに入るまで PAIRING を 3 秒間押し続けます。

現在の Bluetooth 対応デバイスを切断するには:

- 使用するデバイスの Bluetooth を無効にします。

## ラジオを聴く

### ✳ ヒント

- アンテナは、テレビまたはその他の放射源からできる限り離してください。
- 付属の FM アンテナを接続していることを確認します。
- 最適な受信状態になるように、アンテナを完全に伸ばし、位置を調整します。

### ラジオ局へのチューニング

- 1 FM/AUDIO IN を繰り返し押して、音源としてチューナーを選択します。

2 **◀◀ / ▶▶**を 3 秒間押し続けます。  
↳ ラジオは、受信電波が強い局に自動的にチューニングされます。

3 他の局にチューニングするには、手順 2 を繰り返します。

電波が弱い局に適切にチューニングするには:

- 最適な受信状態になるまで **◀◀ / ▶▶** を繰り返し押します。

## FM ラジオ局を自動的に記憶する

### 注

- 最大 30 のプリセットされた FM ラジオ局を保存できます。

1 チューナーモードで、**PROG** を 3 秒以上押し続けて自動プログラムを有効にします。  
↳ **[AUTO]** が表示されます。  
↳ 最初にプログラムされたラジオ局が自動的に放送されます。

2 **ALBUM/PRESET ▲ / ▼** を押して、プリセットされたラジオ局を選択します。

## FM ラジオ局を手動で記憶させる

- 1 FM ラジオ局に合わせます。
- 2 **PROG** を押してプログラミングモードを有効にします。  
↳ **[PROG]** (プログラム) が点滅します。
- 3 **ALBUM/PRESET ▲ / ▼** を押して、プリセット番号を選択します。
- 4 **PROG** をもう一度押して確定します。  
↳ プリセットされたラジオ局の周波数が表示されます。
- 5 上記の手順を繰り返して、他の FM ラジオ局を保存します。

### 注

- あらかじめ保存されているラジオ局を削除するには、別のラジオ局をその局に上書きします。

## プリセットされたラジオ局を選択する

- FM モードで **ALBUM/PRESET ▲ / ▼** を押して、プリセットされたラジオ局を選択します。

## ステレオ／モノラル放送を選択する

### 注

- ステレオ放送は、チューナーモードのデフォルト設定です。
- 信号強度の低いラジオ局の場合は、モノラルサウンドに切り替えると受信状態を改善することができます。

- FM チューナーモードで、**▶▶▶** を押してモノラル放送とステレオ放送を切り替えます。  
↳ ステレオ放送になると、**[STEREO]** (ステレオ) と表示されます。

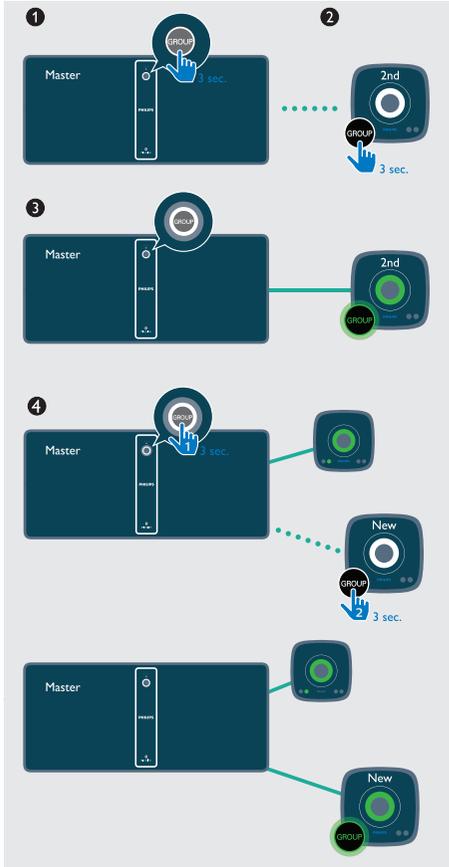
## グループモードで再生する

**グループモード:** izzylink 対応のマルチルームスピーカーが複数ある場合には、グループを作成し、音楽を作成したスピーカーのグループに同時にストリーミングできます。この機能を使うには、izzylink 対応のマルチルームスピーカーを複数購入する必要があります。

### 注

- スピーカーのグループには、最大 5 台までスピーカーを追加でき、その場合は 1 台がマスター、4 台がスレーブになります。
- 下に示す図では、BM5 (各図の右側を参照) を BM50 とグループ化する例を示しています。

## グループを作成する



### 注

- グループを作成すると、グループ機能を有効にした最初のスピーカーが常にマスターとして動作します。

- 1 最初のスピーカーの **GROUP** を 3 秒間押し続けます (マスター)。
- 2 2 番目のスピーカーの **GROUP** を 3 秒間押し続けます (スレーブ)。
- 3 接続が設定されるまで、15~30 秒間待ちます。

- 4 スレーブスピーカーをさらに追加するには、1 台ごとに手順 1~3 を繰り返します。

### 注

- スレーブスピーカーは 1 台単位で追加します。まとめて追加することはできません。追加するときには、まずマスタースピーカーの **GROUP** を押して、ボタンのインジケータが点滅してスピーカーのピーブ音が鳴るまで押し続けます。
- スレーブスピーカーの信号強度インジケータが、信号が弱いことを示した場合は、そのスピーカーをマスタースピーカーに近づけます。

次のスピーカーはすべて既存のグループに追加できるほか、これらのスピーカーを使って新しいグループを作成することもできます。

- 工場出荷時の設定のスピーカー
- スレーブスピーカーが接続されていないマスタースピーカー
- マスタースピーカーから切断されているスレーブスピーカー (**GROUP** インジケータが点滅しているもの)

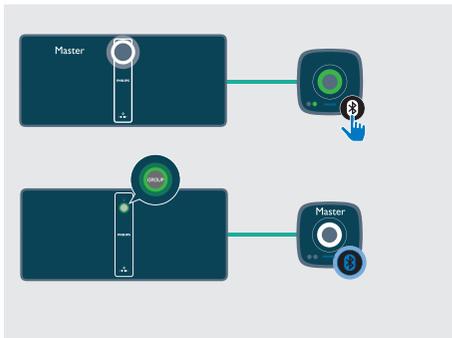
## マスタースピーカーからグループ全体に再生する

### 注

- Bluetooth モードでは、接続された携帯電話で電話を受信した場合や、ビデオを録画している間は、音楽の再生が一時停止します。
- このスピーカー (BM50) がマスターとして動作する場合は、音源を選択してグループのすべてのスピーカーに音楽を流します。

## マスタースピーカーを変更する

グループのマスタースピーカーは簡単に変更できます。たとえば、Bluetooth モードの場合は、携帯電話と現在のマスタースピーカーとの接続が失われたときに、最も近くにあるスレーブスピーカーをマスターに設定することができます。

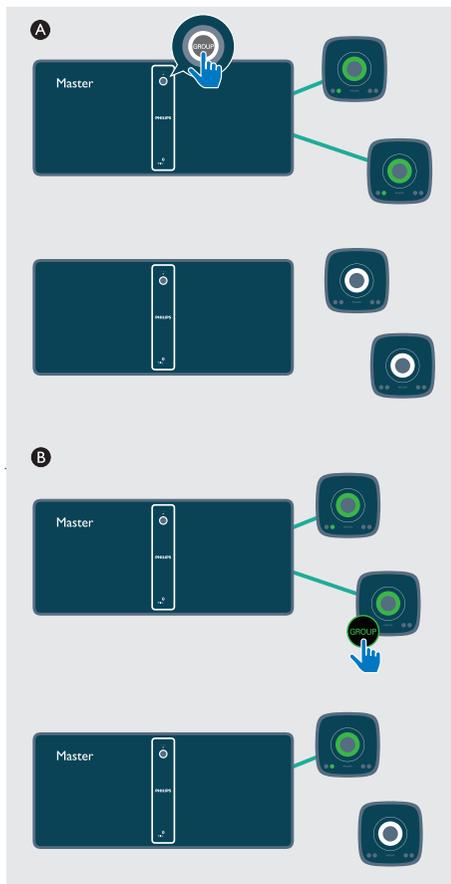


- スレーブスピーカーで任意のソースキーを押して、グループのマスタースピーカーに変更します。

### 注

- モバイル機器と新しいマスタースピーカーのペアリングがまだ行われていない場合は、ペアリングを行います。

## シングルモードに切り替える



- ① シングルモードに切り替えるには、マスタースピーカーの **GROUP** を押します。

  - ↳ スレーブスピーカーは 15 分後にタイムアウトするまでマスタースピーカーを探し続けます。
  - ↳ スレーブスピーカーを使って新しいグループを作成することも、スレーブスピーカーの **GROUP** を押してシングルモードに切り替えることもできます。
- グループモードを再開するには、マスタースピーカーの **GROUP** をもう一度押します。

- ② シングルモードに切り替えるには、スレーブスピーカーの **GROUP** を押します。グループに戻るには、**GROUP** をもう一度押します。

---

## グループの状態をリセットする

- グループの作成で問題が発生した場合には、**GROUP** を 8 秒間押し続けてリセットします。

## 5 サウンドの調整

以下の操作は、サポートされているすべてのメディアが対象です。

---

### プリセットされたサウンド効果を選択する

- プリセットされたサウンド効果を選択するには、**SOUND** を繰り返し押します。
  - **Balanced** (バランス)、**Warm** (ウォーム)、**Bright** (ブライト)、**Clear** (クリア)、および **Powerful** (パワフル) を選択できます。

---

### 音量レベルを調節する

- リモコンの **+/-** を繰り返し押します。
- 本体の **VOL+/VOL-** を繰り返し押します。

---

### 音声をミュートする

- 音声をミュートしたりミュートから復旧したりするには、**MUTE** を押します。

## 6 その他の機能

### アラームタイマーを設定する

本機器は、アラーム時計として使用することができます。アラームの音源として **DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー) を選択できます。

#### 注

- 時計が正しく設定されていることを確認してください。

- 1 スタンバイモードで **SLEEP/TIMER** を 3 秒間押し続けます。
- 2 **◀▶** を繰り返し押し、音源を選択します (**DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー))。
- 3 **SLEEP/TIMER** を押して確定します。  
↳ 時間を示す数字が点滅し始めます。
- 4 手順 2~3 を繰り返して、時間と分を設定し、アラームの音量を調整します。

#### 注

- 90 秒間いずれのボタンも押さないと、タイマー設定モードが自動的に終了します。

アラームタイマーを有効／無効にするには：

- **SLEEP/TIMER** を繰り返し押し、アラーム情報を表示し、アラームを有効または無効にします。  
↳ タイマーが有効になると、**[TIMER]** (タイマー) が表示されます。  
↳ タイマーが無効になると、**[TIMER OFF]** (タイマーオフ) が表示され、**[TIMER]** (タイマー) が消えます。

#### ＊ ヒント

- **DISC** や **USB** が検出されない場合には、システムは **FM** をアラーム用の既定の音源として使用します。

### スリープタイマーを設定する

- **SLEEP/TIMER** を押して、機器の電源をオフにするまでの分数を設定します。
  - **[SLP 120]**
  - **[SLP 90]**
  - **[SLP 60]**
  - **[SLP 45]**
  - **[SLP 30]**
  - **[SLP 15]**
  - **[SLP OFF]**

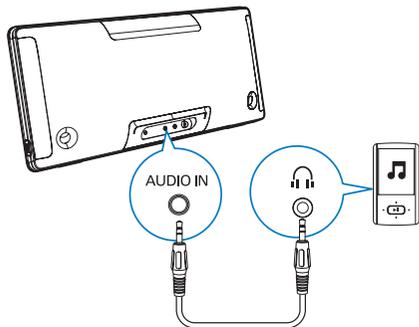
#### ＊ ヒント

- スリープタイマーを設定するには、機器の電源がオンになっている必要があります。

### 外部デバイスの音楽を再生する

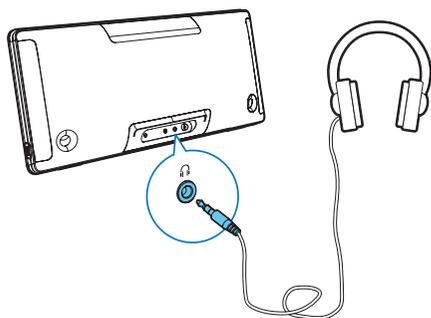
3.5mm オーディオケーブルを機器に接続して、外部デバイスの音楽を再生できます。

- 1 **FM / AUDIO IN** を繰り返し押し、音源として **[AUDIO IN]** (オーディオ入力) を選択します。
- 2 オーディオケーブル (別売) で次を接続します。
  - 機器の **AUDIO IN** ソケット (3.5 mm)
  - および外部デバイスのヘッドホン / **LINE OUT** ソケット
- 3 接続したデバイスで音楽を再生します (デバイスのユーザーマニュアルを参照してください)。



## ヘッドフォンで聴く

- ヘッドフォン(別売)を  ソケットに接続します。



## ファームウェアを更新する

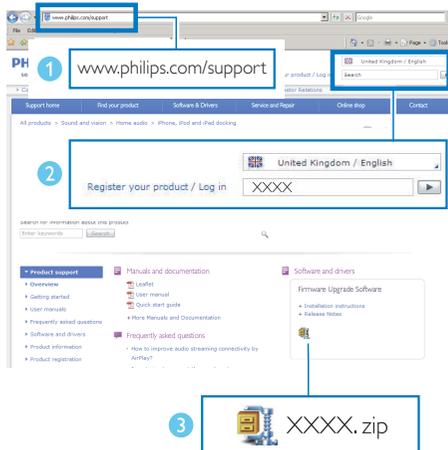
### 警告

- ファームウェアをアップグレードするときは、必ずスピーカーを AC 電源に接続してください。
- ファームウェアのアップグレードが終了するまでは、スピーカーの電源をオフにしたり、USB の大容量のストレージデバイスを取り外したりしないでください。

### 注

- USB スティックの形式は FAT16/32 である必要があります。

- 1 PC または Mac で [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) を表示します。
- 2 モデル番号を入力して、ファームウェアの最新のアップグレードファイルを検索します。



- 3 アップグレードファイルを解凍して USB スティックのルートディレクトリに保存します。
- 4 **USB** を押して **USB** ソースを選択し、USB スティックをスピーカーの背面にある USB ソケットに差し込みます。
- 5 USB スティックを差し込んだまま、ファームウェアのアップグレードが完了するまで 3~4 分間待ちます。
  - ↳ アップグレード中は、「UPGRADE」の文字が表示パネルに表示されます。
  - ↳ ファームウェアのアップグレードが完了すると、「SUCCESS」の文字が表示パネルに表示されます。
- 6 スピーカーから AC 電源を切り離し、USB スティックを取り外します。
- 7 再び AC 電源に接続してスピーカーをオンにします。

### ヒント

- アップグレードが完了したら、USB スティックからアップグレードファイルを削除するのを忘れないようにしてください。

# 7 製品情報

## 注

- 製品情報は予告なく変更されることがあります。

## 仕様

### アンプ

定格出力	2 x 20 W RMS
周波数特性	63~20kHz、+/-3dB
全高調波歪み	<1% (1 KHz)
信号対ノイズ比 (A 特性)	>72dBA
オーディオ入力	650mV RMS 22k Ω

### ディスク

レーザータイプ	半導体
ディスク直径	12 cm
対応ディスク	CD-DA、CD-R、CD-RW、MP3-CD
オーディオ DAC	24 ビット/44.1 kHz
全高調波歪み	<1% (1 KHz)
周波数特性	63Hz~20kHz、±3dB
S/N 比	>72dBA

### Bluetooth

Bluetooth のバージョン	V2.1 + EDR
Bluetooth 周波数帯	2.402GHz~2.48GHz ISM バンド
有効範囲	10 m (自由空間)

### USB

USB Direct バージョン	2.0 フルスピード
------------------	------------

### チューナー (FM)

チューニング範囲	76.0-95.0 MHz
チューニンググリッド	100 KHz
プリセット局	30
感度	
- モノラル、26 dB S/N 比	< 22 dBf
- ステレオ、46 dB S/N 比	< 43 dBf
サーチ感度	<28 dBf
全高調波歪み	< 3%
信号対雑音比 (SN 比)	>55 dBA

### スピーカー

スピーカーインピーダンス	6 Ω
スピーカードライブ	2.5 インチ

### 一般情報

AC 電源	モデル番号: AS600-150-AD300 入力:100-240V~ 、50/60 Hz、1.5A 出力:DC 15.0V、3A
消費電力	オンモード:< 16W エコモード:< 0.5W
質量/寸法	
- 本体 (W x H x D)	500 x 218 x 112 mm
重量	2.9 kg
- 本体	

### USB 対応情報

- サポートされているファイルフォーマット:MP3 (\*.mp3)
- サポートされている MP3 ビットレート:32~320kbps CBR および VBR。

- サポートされている USB ファイルシステム: FAT12、FAT16、FAT32 (セクターサイズ: 512 バイト)

---

## サポートされている MP3 ディスク形式

- ISO9660、Joliet
- 最大タイトル数: 128 (ファイル名の長さによって異なります)
- 最大アルバム数: 99
- サポートされているサンプリング周波数: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- サポートされているビットレート: 32 ~ 256 (kbps)、可変ビットレート

# 8 トラブルシューティング

## 警告

- 本機器のケースは絶対に取り外さないでください。

機器は自分で修理しようとししないでください。保証が無効になります。デバイスの使用中に問題が発生した場合は、修理を依頼する前に以下の点を確認してください。それでも問題が解決されない場合は、フィリップスウェブサイト ([www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)) を参照してください。フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器と、モデル番号およびシリアル番号をお手元に用意ください。

### 電源が供給されない

- AC 電源アダプタのコードが正しく接続されていることを確認します。
- コンセントに電力が供給されていることを確認します。
- トラックの再生終了後、何も操作しないまま 15 分経過すると、節電のために、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

### 音がしない／音質が悪い

- 音量を調整する

### ドッキングスピーカーが応答しない

- オーディオ入力ソースに切り替えてから **■** を 8 秒以上押し続けると、ユニットのデフォルト設定にリセットされます。
- AC 電源プラグを一度抜いて再度接続してから、機器の電源をもう一度オンにしてください。

### 機器の一部のボタンが機能しない、または機器が正常に動作しません。

- 誤ってデモモードをアクティブにしてしまった可能性があります。電源ケーブルを取り外し、**⏻** を押したままもう一度接続し直します。すべてのインジケータが

点滅してデモモードを終了するまで、ボタンを 15 秒間押し続けます。問題が解決しない場合は、同じ操作を繰り返します。その後電源をオンにすれば、スピーカーを通常通りに操作できます。

### リモコンが機能しない

- 機能ボタンを押す前に、本体ではなくリモコンを使用して、適切な音源を選択します。
- リモコンと本体を近づけます。
- 電池の向きをリモコンの表示 (土記号) に合わせて電池を入れます。
- 新しい電池に交換します。
- リモコンを、本体前面にある受光部にまっすぐ向けます。

### ディスクが検出されない

- ディスクを挿入します。
- ディスクが印刷面を上にして挿入されていることを確認します。
- レンズの結露が消えるまで待ちます。
- ディスクを交換するか、クリーニングします。
- ファイナライズされている CD を使用するか、ディスクをフォーマットします。

### USB デバイスの一部のファイルが表示されない

- USB デバイス内で、フォルダ数またはファイル数が制限数を超過していないことを確認します。この現象は誤動作ではありません。
- 形式がサポートされていないファイルです。

### USB デバイスがサポートされていない

- お使いの USB デバイスは本体に対応していません。別のデバイスを使用してください。

### ラジオの受信状態が悪い

- 本体とテレビまたはその他の放射源との距離を離します。
- 付属のアンテナを接続し、完全に伸ばします。

### **Bluetooth 接続が成功したのに曲が再生されない。**

- ご使用のデバイスが、本機器で無線を使用した音楽の再生に対応していません。

### **Bluetooth 対応デバイスに接続するとオーディオ品質が低下する。**

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。

### **Bluetooth をこの機器と接続できない**

- 接続しようとしているデバイスが、本機器に必要なプロファイルに対応していません。
- デバイスの Bluetooth 機能がオンになっていません。Bluetooth 機能をオンにする方法については、Bluetooth デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
- 本機器がペアリングモードになっていません。
- 本機器は既に別の Bluetooth 対応デバイスに接続されています。デバイスを切断してから、もう一度試してください。

### **ペアリングしたモバイルデバイスの接続と切断が繰り返される。**

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。
- 携帯電話機によっては、通話の開始または終了時に接続と切断が繰り返されることがあります。これは本機器の不具合ではありません。
- デバイスによっては、省電力機能で自動的に Bluetooth 接続がオフになることがあります。これは本機器の不具合ではありません。

### **タイマーが機能しない**

- 時計を正しく設定します。
- タイマーをオンにします。

### **時計／タイマーの設定が消えた**

- 停電があったか、電源コードが取り外されました。時計／タイマーをリセットします。

### **グループの接続が切断された**

- スレーブスピーカーをマスタースピーカーの近くに移動します。
- スレーブスピーカーは 1 台単位で追加します。まとめて追加することはできません。
- マスタースピーカーとグループを作成できるのは、4 台までです。
- マスタースピーカーがシングルモードに切り替えられた可能性があります。

## 9 通知

Gibson Innovations によって明示的に承認された場合を除き、この機器に変更または改変を加えた場合は、この機器を操作するための権限が無効になる可能性があります。

### 適合宣言

Gibson Innovations は、この製品が指令 1999/5/EC の必須要件およびその他の関連条項に適合していることをここに宣言します。適合宣言書は、[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) でご覧いただけます。

### 古い製品および電池の廃棄



ご使用の製品は、純度の高い素材と材質を使用してデザインおよび製造されたもので、リサイクルと再利用が可能です。

このマークが付いた製品は、欧州連合における指令 2012/19/EU の適用を受けていることを表します。

このマークは、この製品に欧州指針 2013/56/EU が適用される電池が含まれており、一般の家庭ごみと一緒に捨てることのできないことを示しています。

お住まいの地域の電気電子製品および電池の分別回収システムについて情報を入手してください。電池を廃棄する際は地域の規則に従ってください。一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。使用済み電池の適切な廃棄は、環境と健康に及ぼす影響の低減につながります。

### 使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池の取り外しについては、電池の取り付けの項目を参照してください。

### 環境に関する情報

本製品の梱包には不必要な梱包材を使用していません。当社では、梱包材をダンボール(箱)、発泡スチロール(緩衝材)、ポリエチ

レン(袋、保護発泡シート)の3種類の素材ごとに簡単に分類できるように、努力を払っています。

システムは、リサイクル可能な素材で製造されているため、専門業者による分解の後に再利用できるようになっています。梱包材、使用済み電池、古くなった機器の廃棄方法については、お住まいの地域の廃棄手順に従ってください。



Be responsible  
Respect copyrights

この機器には、米国特許および Rovi Corporation の他の知的所有権によって保護されている著作権保護テクノロジーが組み込まれています。リバースエンジニアリングおよび逆アセンブリは禁止されています。

### Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、Gibson Innovations Limited はライセンスに基づきこのマークを使用しています。その他の商標および商品名はそれぞれの所有者の所有になります。

この機器には次のラベルが添付されています。



注

- タイププレートは機器の背面にあります。

---

## 書面でのオファー

Gibson Innovations Limited は、請求に応じて、この製品で使用されているオープンソースソフトウェアパッケージに対応するソースコードのコピーを提供します。このようなオファーは各ライセンスによって要求されるものです。このオファーの有効期限は製品購入後 3 年となります。ソースコードを入手するには [open.source-gi@gibson.com](mailto:open.source-gi@gibson.com) までお問い合わせください。お問い合わせの際にメールを使用したくない場合、またはお問い合わせメールをこのアドレスに送信してから 1 週間以内に受領確認が届かない場合は、Gibson Innovations Limited の Open Source Team まで書面でお問い合わせください。住所: 5/F, Philips Electronics Building, 5 Science Park East Avenue, Hong Kong Science Park, Shatin, N.T., Hong Kong





2016 © Gibson Innovations Limited. All rights reserved.

This product has been manufactured by, and is sold under the responsibility of Gibson Innovations Ltd., and Gibson Innovations Ltd. is the warrantor in relation to this product. Philips and the Philips Shield Emblem are registered trademarks of Koninklijke Philips N.V. and are used under license.

BM50\_10\_UM\_V3.0

